

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
6	深まる学びへ 春に 握手	15
7	視野を広げて 月の起源を探るスピー チ	14
8	言葉を見つめる 俳句の可能性	8
9	状況の中で 「故郷」	10
10	スピーチ 学びて時にこれを習ふ	18
11	いにしえの心と語らう 論旨を捉えて	21
12	読書に親しむ 書写	
1	未来へ向かって ・誰かの代わりに	19
2	三年間の歩みを	
3	振り返ろう	

時間数 105

2 3学年国語科の目標

〈 国語・書写 〉

目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く力や、相手や場に応じて話す力を身につけ、国語に対する認識を深めるとともに、国語を尊重する態度を育てる。

書写では、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く力を身につける。

3 観点別評価の割合・方法

国語への 関心・意欲・態度 20%	話す・聞く・能力 20%	書く能力 20%	読む能力 20%	言語についての 知識・理解・技能 20%
・授業中の取り組み ・提出物	・定期考査 ・聞き取りテスト ・話し合い活動 ・発言、発表	・定期考査 ・作文 ・ワークシート ・俳句、短歌 ・提出物	・定期考査 ・ワークシート ・提出物	・定期考査 ・漢字テスト ・書写作品 ・小テスト

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～ 0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4		
5		
6	歴史 第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米の進出と日本の開国 2節 明治維新	15
7	3節 日清・日露戦争と近代産業 第6章 二度の世界大戦と日本 1節 第一次世界大戦と日本 2節 世界恐慌と日本の中国侵略	18
8	3節 第二次世界大戦と日本 第7章 現代の日本と世界 1節 戦後日本の発展と国際社会	11
9	2節 新たな時代の日本と世界 公民 第1部 私たちと現代社会	16
10	第2部 私たちと民主政治 1章 民主主義について考えよう 2章 日本国憲法について考えよう 3章 国民として国の政治を考えよう 4章 住民として地方自治について考えよう	28
11	第3部 私たちと経済活動 1章 私たちの生活と経済について考えよう 2章 消費者として経済を考えよう 3章 企業を通して経済を考えよう 4章 納税者として経済を考えよう	22
1	第4部 私たちと国際社会 1章 世界平和の実現をめざして 2章 環境問題について考えよう	16
2	第5部 より良い社会をめざして	
3	3年間の総まとめ	14

時間数 140

2 3学年 社会科の目標

〈 歴史的・公民的分野 〉

歴史的な事象に対する関心を高め、わが国の歴史の大きな流れを世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させる。また、その取り組みを通してわが国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、わが国の歴史に対する理解と愛情を深める。

個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、人種主義に対する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。

3 観点別評価の割合・方法

社会的事象への 関心・意欲・態度 25%	社会的思考・ 判断・表現 25%	資料活用の技能 25%	社会的事象に ついての知識・理解 25%
・授業中の取り組み ・提出物等	・定期考査 ・思考判断プリント	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト
・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート
・深く広くゾーン	・小テスト		

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4	1章 式の展開と因数分解 (休校中の課題)	
5		
6	2章 平方根	4
7	1章 式の展開と因数分解	16
8	2章 平方根	14
9	3章 二次方程式	18
10		
11	4章 関数 $y=ax^2$	21
12	5章 図形と相似	26
1	6章 円の性質	14
2	7章 三平方の定理	16
3	8章 標本調査	11

時間数 140

2 3 学年数学科の目標

- ・数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎を身につける。
- ・基礎をもとに事象を考察し、表現する能力を高める。
- ・数学的活動の楽しさやよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりする態度を育てる。
- ・習熟度別授業（2クラス3展開）において、生徒の習熟の程度を把握したうえで、生徒の希望を聞き取りながら、理解の程度や技能等の習熟の程度に応じて学習集団を編成し、基礎基本を定着させる。

3 観点別評価の割合・方法

数学への 関心・意欲・態度 25%	数学的な 見方・考え方 25%	数学的な 技能 25%	数量・図形など についての知識・理解 25%
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習テスト ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習テスト ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習テスト ・定期考査

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4	休校中課題 ・電流のはたらき（2年次の残り） ・生命のつながり ・生物の成長とふえ方	
5	・遺伝の規則性と遺伝子 ・力のつり合い ・同一直線上の力のつり合い	
6	コロナ休校中の課題の補習	7
7	化学変化とイオン ・水溶液とイオン ・化学変化と電池	39
8	・酸、アルカリとイオン	
9	運動とエネルギー	
10	地球と宇宙 ・太陽の動き ・天体の1年の動き ・月と惑星の運動 ・太陽系と銀河系	34
11	・力のはたらき ・物体の運動 ・仕事とエネルギー ・たいせつなエネルギー資源	
12	生物界のつながり ・生物どうしのつながり ・自然界を循環する物質	21
1	地球の明るい未来のために ・自然環境と人間のかかわり ・くらしを支える科学技術 ・大切なエネルギー資源	17
2	中学理科の総復習	16
3	これからの暮らしを考える	6
時間数		140

2 3学年理科の目標

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

3 観点別評価の割合・材料

自然事象への 関心・意欲・態度 25%	科学的な思考・表現 25%	実験・観察の技能 25%	自然事象についての 知識・理解 25%
定期考査 ワークの提出と内容 小テスト ワークシート・授業プリント 授業中の発言への意欲や態度 授業全般への意欲や態度 授業全般への安全への配慮	定期考査 学カテスト 小テスト 科学的な思考を問う発問 への発言内容 科学的な思考を問う活動の 行動観察や考察の記載事項	観察・実験中の行動観察 観察・実験ワークシート 観察・実験レポート 定期考査 授業プリント (学カテスト) (実技テスト)	定期考査 学カテスト 小テスト ワークシート・授業プリント 知識の理解を問う発問 への発言内容

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4 5		
6	課題「花」 楽典「ト音記号」「ハ音記号」	5
7	楽曲分析「花」 鑑賞「ブルタバ」 器楽「和太鼓」	11
8		
9	歌唱「学年・全校合唱曲①」 (創作「リズム作り」)	
10	鑑賞 平調「越天楽」 歌唱「学年・全校合唱曲②」	3
11	歌唱「合唱コンクールクラス曲」	4
12	歌唱「学年・全校合唱曲①②」 「合唱コンクールクラス曲」	3
1	歌唱「クラス曲/卒業式合唱曲」	9
2		
3		

時間数 35

2 3学年音楽科の目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

観点別評価の割合・材料

音楽への関心・意欲・態度 25%	音楽表現の創意工夫 25%	音楽表現の技能 25%	鑑賞の能力 25%
<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・提出物 ・実技試験 ・授業準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・提出物 ・筆記試験 ・実技試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験 ・授業観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 ・授業中の発言 ・筆記試験 ・授業観察

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
6	オリエンテーション	1
	京都奈良の文化財	3
7	版画制作	5
8	立体制作（構想スケッチ）	5
9		
10	世界の文化財（鑑賞）	1
11	立体制作（成形・着彩）	12
12		
1	鑑賞（映像作品）	1
2	卒業制作（映像）	6
3	3年間の美術のまとめ	1

時間数 35

3 観点別評価の割合・材料

美術への関心・意欲・態度 25%	発想や構想の能力 25%	創造的な技能 25%	鑑賞の能力 25%
<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業記録カード 授業観察 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート スケッチ 作品評価 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 作品評価 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 鑑賞レポート

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～0%	一層努力を要する	1

2 3学年美術科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4		
5		
6	健康な生活の疾病の予防 	18
7		
8		
9		
10		
11		
12		
1		
2		
3		
時間数		18

3 観点別評価の割合・材料

運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動や健康・安全への思考・判断		運動や健康・安全への知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 授業中の取り組み（ワークシートなど） 仲間と協力して学習 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や仲間が健康で安全な生活を送るためにどうすればいいか課題を考えられる（コメントシート） どんな活動をすれば課題を達成できるのか、そのやり方を考えられる（コメントシート） どんな活動をすれば課題を達成できるのか、やり方を工夫できる（コメントシート） 定期考査 		<ul style="list-style-type: none"> 健康で安全な生活を送るための基礎的なことがわかる 健康・安全な生活を送るためになおして行かなくてはならないことがわかる 定期考査

上記の内容を体育分野と総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

2 学年保健体育科の目標

＜ 保健分野 ＞

個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身に付ける。

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4	体づくり運動 (休校中の課題)	
5		
6	陸上競技 【短距離走・ハードル走】	10
7	球技（選択） 【男子 ハードル・女子 跳躍】	
8	球技（選択） 【バレー・ハンドボール】	11
9	体育理論	4
10	器械運動（選択） 【マット・とび箱】	11
11	球技（選択）	
12	陸上競技 【バスケ・サッカー】	13
1	球技（選択） 【長距離走】	11
2	球技（選択） 【バドミントン・アルティメット】	14
3	球技（選択） 【ソフト・卓球】	13

※水泳は今年度実施しない 時間数 87

3 観点別評価の割合・材料

運動や健康・安全への関心・意欲・態度 25%	運動や健康・安全への思考・判断 25%	運動の技能 25%	運動や健康・安全への知識・理解 25%
<ul style="list-style-type: none"> ・体育着を正しく着用 ・進んで運動を実践 ・安全に道具のセット ・仲間と協力して運動 ・公正な審判・計測 ・準備体操 ・学習カードの記入 ・学習カードの提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、持っている能力をさらにのばすための課題を考えられる ・どんな活動をすれば課題を達成できるのか、そのやり方を考えられる ・学習カードの記入 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・その運動を行うために必要な技能の習得 ・体力を高めるための運動のやり方の習得 ・実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や健康・安全についての基礎的な理解 ・運動や健康・安全についての基礎的なことを授業でいかしている ・ルールを理解と審判方法 ・定期考査

上記の内容を保健分野と総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80未満%～50%	B	50未満%～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～ 0%	一層の努力を要する	1

2 学年保健体育科の目標

＜ 体育分野 ＞

運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、知識や技能を高め、生涯にわたって運動を実践する力を身につける。

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4		
5		
6	・コンピュータの仕組みを知ろう ・計測制御システムを知り、機能を知ろう ・コンピュータソフトを活用し、簡単な制御プログラムを知ろう	7
7		
8		
9	・情報セキュリティ等に係る基礎的な技術の仕組みを知ろう ・SNS等の適切な活用方法を考えよう	7
10		
11		
12	・ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツの更生を調べよう。 ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングをおこなおう。 ・情報技術を適切に評価し活用しよう。	4
1		
2		
3		
時間数		18

2 3学年 技術科の目標

〈 技術分野 〉

ものづくりなどの実践的、体験的な学習活動を通して、情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

3 観点別評価の割合・方法

生活や技術への 関心・意欲・態度 25%	生活を工夫し 創造する能力 25%	生活の 技能 25%	生活や技術についての 知識・理解 25%
・授業観察 ・学習プリント ・製作品 ・定期考査	・学習プリント ・製作品 ・定期考査	・学習プリント ・製作品 ・定期考査	・学習プリント ・製作品 ・定期考査

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～ 0%	一層努力を要する	1

※技術科と家庭科の得点を合計したもので、評価・評定を行う。

1 年間の授業のめやす

3 観点別評価の割合・材料

月	単元・章・節	時数
6	家族家庭と子どもの成長 幼児の生活と遊び 幼児の体の発達	6
7	幼児の遊びと発達	5
8		
9		
10	身近な消費生活と環境	4
11		
12		
1	おやつを作ろう	2
2		
3		
時間数		17

生活や技術への 関心・意欲・態度 25%	生活を工夫し 創造する能力 25%	生活の 技能 25%	生活や技術についての 知識・理解 25%
<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み 授業準備 学習プリント 提出物 製作品 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み 学習プリント 提出物 製作品 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み 学習プリント 製作品 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 学習プリント

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

2 3学年家庭科の目標

〈幼児の生活と遊び・身近な消費生活と環境〉

幼児の発達と生活の特徴を知る。幼児とのふれ合いを通して、幼児への関心を深め、かかわり方を工夫できる。おもちゃづくりやおやつづくりを通して、幼児についての理解を深める。

身近な消費生活について考え、消費行動と環境が大きく関わっていることを理解し、持続可能な環境にむけた取り組みができる。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4		
5		
6	・Unit 1 Video Letter from Min-ho ・Unit 2 How Do They See Japan? ・Unit 3 Our School Trip ・Go For It! 1 修学旅行の新聞 ・Let's Read 1	49
7		
8		
9	・Let's Read 2 ・Unit 4 Guest From Cambodia ・Unit 5 Dreams for the Future ・Let's Read 3 ・Unit 6 The Student News Net ・Unit 7 The Last Concert	58
10		
11		
12		
1	・Let's Read 4 Changing the World ・Let's Read More 1 ・Let's Read More 2	33
2		
3		

時間数 140

3 観点別評価の割合・方法

コミュニケーションに対する 関心・意欲・態度 25%	外国語表現の能力 25%	外国語理解の能力 25%	言語文化に対する 知識・理解 25%
・授業への取り組み ・提出物み ・発表 ・スピーキングテスト	・定期考査 ・小テスト ・英作文 ・発表 ・スピーキングテスト	・定期考査 ・リスニングテスト	・定期考査 ・小テスト

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

2 3学年 英語科の目標

- ・自分が経験したことを英語でまとめたり、発表できる。
 - ・自分の気持ちや考えを人に伝える。
 - ・人やものについて、英語でいろいろな説明をする。
 - ・少し長い英文の内容を読みとる。
- ※2クラス3展開の少人数授業を実施。学び合い、助け合いながら、どのような生徒もより活発にコミュニケーション活動に取り組めるよう、より個に応じた指導を行う。

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～ 0%	一層努力を要する	1